

- 問1 後醍醐天皇が行った政治体制が決裂したことを指す言葉は何？
- 問2 中世において、寺社の門前や交通の要所に、決まった日にちや回数で開かれる商業活動の場を何といいますか？
- 問3 後醍醐天皇による天皇親政が始まるきっかけとなった、1333年に滅亡した武家政権は何か？
- 問4 観阿弥とともに能を大成させ、能楽の基礎を築いた人物は誰？
- 問5 室町幕府が、明との貿易船を正式なものと証明するために使用した札を何という？
- 問6 建武の新政が行われていた期間の混乱ぶりを風刺し、当時の社会状況を伝えるために作られた落書を何という？
- 問7 室町時代、東山文化を代表する建築物である銀閣（慈照寺）を建てた、室町幕府の8代将軍は誰？
- 問8 室町幕府において、将軍を補佐する最高の役職であった守護大名の地位を何という？
- 問9 15世紀後半、細川氏と山名氏が対立し、将軍の跡継ぎ問題などが絡んで京都で起こった大規模な内乱を何という？
- 問10 下の身分の者が、上の身分を力で倒して地位を奪う、室町時代の社会風潮を何という？
- 問11 二条河原の落書など、中世の日本の文芸や歌で好まれた「七・五・七・五」を基調とするリズムを何といいますか？
- 問12 明に渡って絵画を学び、独自の力強い水墨画を大成させた画僧は誰？
- 問13 慈照寺銀閣の東求堂同仁斎に見られる、畳や床の間などを備えた現代の原型となる部屋を何という？
- 問14 東山文化を代表する建築物で、足利義政が京都に建てたものは何？
- 問15 琉球王国が中継貿易を行う上で、最も重要な窓口となっていた当時のアジアの大国を何という？
- 問16 室町時代に浄土真宗の門徒が守護大名を倒し、約100年間にわたって自治を行った場所はどこ？
- 問17 現在の石川県である加賀国で、浄土真宗の門徒らが守護大名を倒した一揆が起こったのは何年ですか？
- 問18 鎌倉時代に浄土真宗を開き、後に室町時代に蓮如によって民衆へ広く広められた人物は誰？
- 問19 浦島伝説が収められている、奈良時代に編集された日本最古の歌集を何という？
- 問20 堺の町で、有力な商人たちが組織した合議制の運営組織のことを何という？
- 問21 首里に築かれ、琉球王国の政治・外交・文化の中心として栄えた拠点を何といいますか？